

# 恋人たちの幸せ祈る鐘

14日のバレンタイン

デーを前に、「恋人の聖地」に認定されている北陸道下り線有磯海

## 名称はミラーージュ・ベル

できる。

昨年12月には、高岡銅器製の鐘のモニュメント(高さ約3.5m)を設

サービスエリア(SA、魚津市湯上)では、幸せの訪れを祈るために設置された鐘Ⅱ写真Ⅱの名称が「ミラーージュ・ベル」に決まった。SA内には新たにハート型の照明8基が設置されるなどデートスポットとしての整備が進められており、支配人の石川信広さんは「バレンタインの記念にたくさんのカップルに

## 有磯海SA

訪れて欲しい」と話している。

恋人の聖地は、NPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市葵区)が、全国のロマンチックな観光地を認定する取り組み。有磯海SAは昨年、県内2番目の認定を受けた。高台のSAからは、魚津、滑川両市や富山湾が一望でき、晴れた日には能登半島や蟹気楼も見るこ

置。今回、約150通の応募の中から、蟹気楼を意味する「ミラーージュ」が名称に採用された。ベル付近には、恋人同士が永遠の愛を願って錠を取り付けるフェンスも設けられ、SA内ではハート型の錠も販売されている。

またSAでは、新たな駐車場が整備され、一般道側からも入れるようになった。

